

数理・データサイエンス教育研究所活動実績報告書

令和5年1月1日～令和5年12月31日

令和6年4月10日

所長 小西達裕

(1) 研究計画の進捗状況

計画①：e-learning 教材の開発研究

数理・データサイエンスの基礎的理解を目標としたレベルの教材は、全国的に開発の段階にある。そこで、本プロジェクト研究所では、基礎的レベルの e-learning 教材の開発研究を行い、静岡大学、さらにはその他の大学で利用できる教材パッケージを開発する。

実施状況：当 PJ 研究所を中心としてデータサイエンスの基礎的内容を学習可能な動画教材を作成した。動画教材は総数 50 本を超えており、本学の全学教育科目の数理・データサイエンス入門で授業教材として利用されている。教材のアップデート、追加も研究所スタッフを中心の継続実施してきた。教材は、文部科学省の数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）の教材として認定され他大学での利用も可能となっている。令和5年度は、リテラシーレベル、応用基礎レベルの教材づくり提供を行っている。詳細は以下の通りです。

（リテラシーレベル教材）動画教材を他大学での利用できる仕組み作りも行った。教材の著作権対応の処理を実施するとともに、産学連携部署と調整して他大学に教材提供できるプロトコルを制定した。現在までに浜松医科大学、静岡英和学院大学、静岡県立大学、常葉大学に対して提供を行っている。

（応用基礎レベル教材）今年度から応用基礎レベルの教材づくりを開始した。これらの教材は、令和6年度から開始されるデータサイエンス教育のリカレント教育・公開講座等で活用を予定している。

計画②：e-learning 教育の学習環境に関する研究

e-learning を用いた教育を行う上で、学習管理、学習成果の可視化・質保証をどのように行っていくのかが大きな課題である。そこで、本プロジェクト研究所では、ベネッセコーポレーションと連携し、学習者を中心としたユーザ中心設計の視点で新しいオンライン教育の学習環境（LMS）の開発研究を行う。

達成状況：2023 年度から GoogleClassRoom によるフルオンデマンド授業を実施を行った。LMS 環境として 2000 人規模の授業運営についても問題なく実施できたことから、今後公開講座等での e-learning 学習環境として全学展開を目指して活動を行うこととした。